

# 海辺のグランドデザイン(素案) 概要版

## 1 策定の趣旨

- 3つの人工海浜と2つの海浜公園からなる海辺エリアは本市固有の地域資源。
- 海辺エリアは、都市の魅力向上や市民生活の充実、地域経済の活性化等に重要。
- 20~30年先を見据え、本エリアの活性化に向けた方策等、今後の取り組みの方向性を示した「海辺のグランドデザイン」を策定。
- 策定後、市民・企業・行政で共有し、自主的な取り組みと積極的な参加を促進。

## 2 策定の方法

- ◆千葉大学との共同研究
  - ・平成25年度、海辺のグランドデザイン策定のための基礎調査。
  - ・小学生、学生、市民によるワークショップを実施。
  - ・海辺エリアのゾーニング、将来像、魅力を高める文化施設などを提案。
- ◆市民等によるワークショップ
  - ・平成26年度、将来像と具体策を検討。 ・一般公募の市民と市民団体が構成。

## 3 グランドデザインの特徴

- ◎3つの人工海浜と2つの海浜公園を一体的な空間と捉え、ゾーンの特徴に応じた活性化方策を導入。
- ◎海辺エリアと隣接する市街地の回遊性創出のための方策を導入。
- ◎施設の整備やソフト事業にあたり、民間活力を導入、また市民参画を促進。

## 4 活性化のコンセプト

課題	ア. 魅力ある地域づくり	イ. 既存資源の活用	ウ. 自然資源の保全・活用
	エ. 海を感じる景観づくり	オ. 回遊性の向上	カ. 持続的なまちづくりの推進

取り組みの方向性	①海辺の豊かな自然や風景を活かす	②民間の強みを活かした官民連携によるまちづくりを進める	③地域の特性・歴史を活かし、和の文化や千葉市らしさを発信する
	④日常性と非日常性を併せ持つ都市空間を活かす	⑤国内外から多くの人々が訪れる地とする	⑥多様な世代に対応し、新たなスタイルを提案するまちづくりを進める

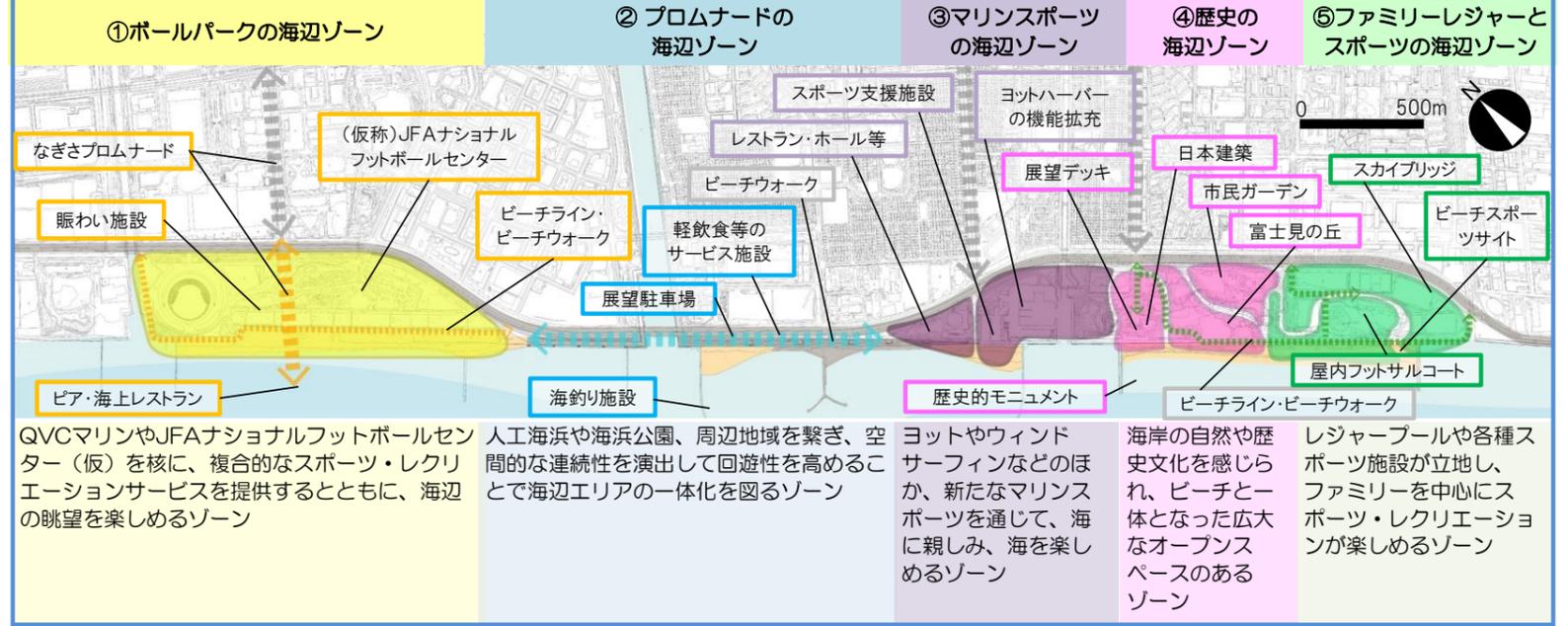
【コンセプト】

### 海辺とまちが調和するアーバンビーチ

稲毛と幕張の海辺ですごく 新しいライフスタイルの提案

## 5 稲毛・幕張海浜エリアの活性化フレーム

### (1)海辺エリアのゾーニング



### (2)活性化方策のイメージ

<h4>①ボールパークの海辺ゾーン</h4> <p>■ハード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海を見通せる「なぎさプロムナード」</li> <li>砂浜に車でアクセスする「ビーチライン」</li> <li>海の眺望を楽しめる「海上レストラン」</li> <li>健康と癒しのマーケット「賑わい施設」</li> </ul> <p>■ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康と癒しのパッケージツアーの開催</li> <li>スポーツや音楽のビーチイベントの開催 etc</li> </ul>	<h4>②プロムナードの海辺ゾーン</h4> <p>■ハード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>稲毛～幕張の砂浜をひと繋ぎにする砂浜の歩行空間「ビーチウォーク」</li> <li>海を眺めてひと息「シーサイドカフェ」・「展望駐車場」</li> <li>少しの時間でも気軽に「海釣り」</li> </ul> <p>■ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海辺エリアの魅力の発見・PR（写真コンクール等）の実施 etc</li> </ul>	<h4>海辺へのアプローチ空間</h4> <p>■ハード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビーチウォークの整備【再掲】</li> <li>ビーチライン（砂浜沿いの車路）・駐車場の整備</li> <li>乗降自由なレンタサイクルシステムの構築</li> <li>BRT・LRT等の新交通、東京都心部・幕張の浜・ヨットハーバー・千葉中央港地区を結ぶ水上バスの導入検討</li> </ul> <p>■ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オープンカフェなど沿道空間の賑わい創出 etc</li> </ul>
<h4>③マリンスポーツの海辺ゾーン</h4> <p>■ハード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろなマリンスポーツを体験できる「ヨットハーバー（拡張）」</li> <li>さまざまなスポーツを楽しむ人向けのサービス施設「スポーツ支援施設」</li> <li>海辺のロケーションで特別なイベントを行える「レストラン・ホール」</li> </ul> <p>■ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マリンスポーツの大会の誘致 etc</li> </ul>	<h4>④歴史の海辺ゾーン</h4> <p>■ハード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京湾を一望できる「富士見の丘」</li> <li>和のイメージエリアを形成する海気館をモチーフとした「日本建築」と庭園、「歴史的モニュメント」</li> <li>市民による手作り花壇「市民ガーデン」</li> </ul> <p>■ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海辺エリア全体が会場のフラワーイベント</li> <li>民間航空記念館での子どもの科学教室 etc</li> </ul>	<h4>⑤ファミリーレジャーとスポーツの海辺ゾーン</h4> <p>■ハード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インドアスポーツを導入するための「屋内プールの転用（フットサル等）」</li> <li>砂浜で各種スポーツを楽しめる「ビーチスポーツ場」</li> <li>市場でらくらくショッピング「スカイブリッジ」</li> </ul> <p>■ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プールの通年利用（ウォータースポーツサイトの開設、イルミネーションイベントの開催など） etc</li> </ul>

※上記の活性化方策は、実現性や期待される効果、社会経済情勢の変化、利用者のニーズ、民間事業者の意向などを勘案しながら、実現に向けて検討を進めていくものとします。  
 ※幕張海浜公園・幕張の浜・検見川の浜は千葉県が管理する施設であり、記載の内容については、千葉県独自の提案として取りまとめたものです。